

災害時に町民のみなさんに実践していただきたい「命を守る行動・知識」を毎月お伝えしていきます。

令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、石川県能登地方を中心に最大震度7の激しい揺れを観測し、2万8,000人あまりが避難生活を余儀なくされました。もし、いま南海トラフ巨大地震が起きたらどうしますか？「備えあれば憂いなし」。いま一度、大規模災害に直面した時、自分は何のように行動するのか、何を備えておけば良いのか、考えましょう。



水の備蓄

断水に備えて、水をストックしておきましょう

めやす 1日3ℓ×7日分

(1人あたり)

- ・給水所で使う給水袋やポリタンクも準備しておきましょう。



食料の備蓄

ちよい足し買いで、食べたら補充！ローリングストック！

めやす 1日3食×7日分

(1人あたり)

- ・賞味期限の長い特別な食品でなくても大丈夫です。

事前の備え



携帯トイレ

トイレの備えがあなたの命と健康を守ります

- ・携帯トイレ
自宅のトイレの便器に設置して使うもの。

めやす 1日5回×7日分

(1人あたり)

蓄電池

停電に備えて、日頃から充電しておきましょう

- ・モバイルバッテリーや大容量のポータブル電源もあると在宅避難時に役立ちます。

★令和6年度も家庭用ポータブル蓄電池の補助を検討中です。

(担当：くらし環境課)

《地震発生後の行動》

- ・地震発生後、地区で決められた一時避難地へ向かう
- ↓
- ・自宅で身の安全が確保される場合は自宅で避難生活を送る「在宅避難」
- ・自宅が危険な場合は、指定避難所やその他の避難先（親戚や知人宅等）へ

次回は「避難所生活について」を掲載予定

【問】総務課・自治防災室 ☎0547(56)2220



内装&外装 塗装工事一式

なかむら塗装

静岡県知事許可 第25802号

川根本町徳山936

TEL・FAX 0547-57-2840

二代目代表 中村 剛子(なかむら たかね)

ご相談やお見積もりは無料です。お気軽にお声掛けください。